

第124回自家発電設備認証委員会を開催

内発協ではこのほど、令和3年10月5日（火）に東京グランドホテルで開催した「第124回自家発電設備認証委員会」の審議結果を公表しました。今回の審議事項は三菱重工エンジン&ターボチャージャ株式会社など3社から申請のあったサーベイランス3件でした。サーベイランスとは、認証を受けた製品が適用基準に継続して適合していることを定期的に確認する「維持審査」のことです。

同委員会の開催に先立ち、内発協製品認証部が申

サーベイランス

申請者等		対象品目	認証番号	登録形式	有効期限
三菱重工エンジン&ターボチャージャ(株)	—	防災用自家発電装置	B-D-909	30形式	2024/7/4
		常用防災兼用発電装置	K-D-909	15形式	
			K-C-909	9形式	
タイセイ電機(株)	福岡工場	防災用自家発電装置	B-D-44	11形式	2024/2/29
(株)安川電機	行橋事業所	防災用自家発電装置	B-D-48	11形式	2024/2/29
			B-T-48	4形式	

自家発製品拡充し販売注力

三友工業株式会社（小牧市）

非常用発電装置メーカーの三友工業株式会社（片桐忠社長）ではオリジナルブランドの定置式の非常用発電装置『Cute Power（キュートパワー）シリーズ』に、新たに『SQPF・SCFの2シリーズ』を追加して、合計5シリーズ・33機種へと製品ラインアップの拡充を図ることを先頃、明らかにしました。今後、幅広いニーズに応えられる合計33機種を市場へ投入して、定置式の非常用発電装置の販売拡大に向け、一層注力していくこととしています。このほど、愛知県小牧市にある三友工業株式会社の本社を訪ね、同社エネルギー事業部の佐藤達志部長、仲谷晋次長の両氏から今後の抱負などを伺いました。

三友工業の説明によれば、「弊社小牧工場では、各種発電装置の製造工場としての登録を内発協より受けています。停電対策用として設置されるオリジナルブランドの定置式の非常用発電装置『キュートパワーシリーズ』のほか、建設工事現場で常用電源として使用される可搬形発電装置の製造委託を受け、長年にわたり生産に取り組んできた豊富な実績を持っています。」（佐藤部長談）

「キュートパワーシリーズの内、消防法適合品として定置式の防災用ディーゼル発電装置『SQPFシ

リ者等の現地で実施した現地審査では、3件はいずれも自家発電設備認証規程第14条の認証基準に継続して適合していると判定されました。同委員会ではサーベイランスの判定結果3件について審議が行われた結果、いずれも合格と評価され、承認されました。有効期限の付与については有効期限の変更なしとされた上で、新規または更新時に付与された日までとされています。下表のとおりです。

リーズ』があります。屋内・屋外兼用低騒音キュービクル形などのタイプがあり定格出力は50kVA～650kVAまでの範囲をカバーしています。今後、キュートパワーシリーズの追加機種として位置付け、製造・販売に注力して参ります。」（同）

従来より、三友工業では自社開発し、販売に取り組んできた非常用ディーゼル発電装置などの自社ブランド製品に対しては象徴として『SANYU』のロゴマークを貼付しています。中でも、震度7相当の耐震試験をクリアした地震による発電装置本体の故障が発生しにくいという特長を備えた、軽油燃料仕様のキュートパワー『SEGSシリーズ』について

は全国で広く知られています。小型の非常用ディーゼル発電装置で、定格出力は新製品の1.5kVA～20kVAまでの範囲をカバーしています。

近年、国内では地球温暖化の影響とみられるゲリラ豪雨などによる河川の氾濫や道路の冠水が多発しています。『SEGSシリーズの内、130 (定格出力3kVA)』については、道路・河川・ダムなどに設置される非常用通信ネットワーク用電源や、道路交通安全システム用電源などとして開発された製品です。特長として、停電対策に必要な自動始動装置、電源切替器、インバーター制御、容量40Lの燃料タンクを標準装備した上で、すべてをパッケージ内に収納したオールインワン構造を採用しています。停電発生後、10秒以内で送電を開始し、最長24時間の連続運転が可能といえます。

『SEGSシリーズの内、160 (定格出力5kVA)・1100 (定格出力9.8kVA)』については、発電装置内に潤滑油増量タンクをオプションで搭載することにより、さらに外部に別置き燃料タンクを設置すれば、最長168時間の連続運転が可能といえます。金融機関、医療機関、地方公共団体が指定した避難所施設、防災無線施設、大手携帯電話会社の通信機器施設など向けに豊富な納入実績を持っています。

LPガス燃料仕様のキュートパワー『SGDSシリーズ (定格出力9.8kVA)』については、ガスエンジン直流発電装置です。全国に342箇所整備されたLPガス中核充てん所を通して、災害発生時にも安定した燃料供給が可能といえます。特長として、定格出



SEGS130



SEGSシリーズ



消防法適合品 SQPシリーズ

力が同じクラスの交流発電装置に比べ、さらなる小型・軽量化を実現しました。騒音レベルは発電機から7mの距離で測定すると、63db以下で、従来の交流発電装置に比べ、一段と低騒音化を達成しました。パソコンなどの通信機器や、蓄電池(高性能バッテリー)、蓄電池を搭載したフォークリフト用電源として、また、太陽光発電用PCS(パワーコンディショニングサブシステム)と直接接

続も視野に入れていきます。

「直流発電装置については2019年の発売開始から徐々に引き合いが増えている」といいます。三友工業では、製品ラインアップの拡充を図った定置式の非常用発電装置『キュートパワー合計5シリーズ・33機種』を中心に、引き続き販売に注力していくこととしています。



- 屋内オープン形 (SQPF-L型)
- 屋内・屋外兼用キュービクル形 (SQPF型)
- 屋内・屋外兼用低騒音キュービクル形 (SQPF-S型)
- 屋内・屋外兼用超低騒音キュービクル形 (SQPF-SS型)

消防法適合品 SQPFシリーズ



SEGSシリーズ